

留寿都高校だより

令和7年3月号

(令和7年3月21日発行)

TEL(0136)46-3376

FAX(0136)46-3386

令和6年度の終わりにあたって

北海道留寿都高等学校長 川嶋修一

春の訪れを感じる晴天の中、3月1日に第71回卒業証書授与式を挙行し、4年生2名、3年生5名の合計7名が本校を巣立っていきました。思い起こせば入学式、みんながマスクを着用し、先の見えない長いトンネルの中スタートをきった高校生活でしたが、パンデミックが起きたときに人類は英知を振り絞り解決への道しるべをつける力を持っていること、そして、いつしか元通りの、いや、それ以上の今日を迎えることができることを高校時代に体験できたことはこれからの長い人生において大きな糧になると思います。

さて、私ですが4月1日より北海道倶知安農業高等学校へ転勤することとなりました。保護者の皆様方をはじめ本校教育活動にご指導ご協力を賜りました留寿都村、関係各位、地域の方々に感謝申し上げます。最後に、次年度も引き続き、留寿都高校に変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

1年のふり返りと来年度の抱負

「今までとこれから」

3年 佐々木さん

私の過ごした3年間は、かけがえのないものになりました。入学式からの3年間は自分の人生の中で一番色濃く、かつ一番時間の進みが早いと感じました。初めて学ぶ農業、福祉、実際に施設に行つての実習など、最初は不安がたくさんありました。しかし、ともに学ぶ仲間や、困ったときは支えてくれる先生方に助けられ、とても楽しく3年間を過ごすことができました。4年生へ進級したら、介護の勉強や施設実習が多くなります。そこで怠けるのではなく、大切な時間を有意義に使い、自分の技術向上につなげられるように頑張っていきたいです。



「今年度の振り返りと、来年度に向けて」

2年 伊藤さん

今年度は実習や見学旅行などがあり、たくさんの経験をする事ができました。農業実習では、あまり乗ることのできないハーベスターに乗ることができ、貴重な体験をすることができました。見学旅行では、美味しいご飯を食べたり、ホテルで友達と遊んだりして思い出に残る見学旅行になりました。そして、役割分担で自分のやるべき仕事をしっかりとこなせました。仲間の協力もあって、信頼関係をより深めることができたので良い一年になりました。今年度の反省点は、授業やテスト期間での勉強量が足りなく、後悔したことです。なので、来年度は今年度よりもより多く勉強に励みたい。また、クラスの仲間との思い出をたくさんつくり、クラス全体が3年生らしくいられるよう、努力していきたいです。



「1年間をふりかえって」

1年 打田さん

入学してからのこの一年間は様々なことがありました。入学式では、みんな緊張していましたが、一週間が経つ頃にはクラスの雰囲気はとても明るく楽しい教室になっていました。次に宿泊研修がありました。宿泊研修では、ハイキングやカレー作りがありみんなで楽しみました。また、学校祭がありました。学校祭では、ダンスや学年対抗のスポーツ大会ではバレーボールやドッジボールをしました。初めてのスポーツ大会はとても楽しかったです。後期に入りクラスメイトが増え、クラスの雰囲気がより一層明るくなり、楽しいクラスになりました。2年生に進学しても、この明るく楽しい雰囲気が続けばいいと思います。



第71回卒業証書授与式

3月1日の卒業証書授与式では、4年生2名、3年生5名、計7名が晴れやかな表情で本校を旅立ちました。



生徒会農業クラブ「リーダー研修会」

3月11日(火)、17日(月)の2日間で新生農会によるリーダー研修会が開催されました。

17日には校長先生より生徒会や農業クラブの活動・行事についての講話をいただき、新たな年度の活動に向け、意識を高めることができました。

離任者からの挨拶

小鍋 教頭

本校には2年間という短い間でしたが、優しく何事にも頑張る生徒たちをより良く育てるべく、保護者や地域の皆様に支えられながら仕事をさせていただくことができました。雄大な羊蹄山を毎日見ながら、公私ともに充実した毎日を過ごせました。

今回、北斗市にある大野農業高校へ異動することとなりました。農業科学、園芸福祉、食品科学3学科を有し道南地域の農業教育の拠点となっている学校です。留寿都高校に負けられないよう、仕事に取り組んでいきたいと考えています。

留寿都高校のより一層の発展と皆様のご活躍を心から願っております。ありがとうございました。

上田 教諭

皆さんは人生をどれくらい先まで考えて、生きているのでしょうか。老後のことまで考えている人、今日のことしか考えていない人など、さまざまだと思います。私の場合は、1年単位で人生を考えています。4月に始まり3月に終わる1年単位です。極端に言えば、3月に命が尽きてしまっても後悔しないように、1日1日を大切に生きるようにしています。昨年4月に留寿都高校に来た時も、3月に留寿都を去っても後悔しないように全力で授業や行事に取り組みました。私は凡人なので3年単位で考えてしまうと「まだまだ先が長いからいいや」と、大切な1日を無駄にしていまいます。1年単位で考えることで中身が凝縮され、皆さんと過ごした学校生活も充実し、とても楽しい1年となりました。本当にありがとうございました。

4月からは石川県立能登高校に赴任します。能登地震により学校が壊れ、当たり前にあるはずである学習環境を奪われてしまった生徒達のために全力を尽くしたいと考えています。「今ある当たり前が、当たり前でなくなってしまうことも、大いに起こり得ることである」ということを感じながら生きることができれば、皆さんの人生観も少し変わるかもしれませんね。

鈴木 教諭

去年4月に赴任をしたばかりですが、1年で北海道留寿都高等学校を離れることとなりました。1年という短い時間でしたが、非常に中身の濃い時間を留寿都高校の生徒と過ごすことができ、楽しい日々を過ごすことができました。

留寿都高校における一番の思い出は、寮内で寮生とのたわいないコミュニケーションをしたことです。寮を担当していたので、寮に入ることが多く、寮生とたくさん交流できたことはとても楽しかったです。

これからの高校生活では、楽しいことも苦しいことも経験していくことになると思いますが、社会に出るための充電期間と思って、様々なことを楽しみながら学んでください。

来年度からは北海道今金高等養護学校で教えることになっています。今金の地から生徒の皆さんのご活躍を願っています。

生徒の皆さんに対しては感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。それでは、またどこかで会える日までさようなら。

山下 教諭

留寿都高校に赴任して8年が経ちました。赴任した最初の授業で、野菜ハウスが突風による被害を受け、数時間にわたりハウスの扉を押さえたことを今でも思い出します。在任中は授業をはじめ、生徒指導について関わるが多かったですが、生徒の皆さんは素直で、何事も一生懸命取り組む印象を受け、時には助けられました。農業と福祉について学ぶ姿は本当に真剣で外部と関わる活動でも、安心して送り出すことができました。また、最後に担任も受け持つことができ、本当に充実した日々を送ることができました。最後に、保護者の皆さまをはじめ、地域の方々、教職員の皆さま、本校の教育活動に多大なるご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。これからの留寿都高校と皆さまの益々のご活躍を心から願っております。8年間本当にありがとうございました。

長井 教諭

私事ではございますが、4月1日付で小樽高等支援学校へ異動することとなりました。

留寿都高校の生徒の皆様からは沢山の事を学ばせていただき、心から感謝しております。

美味しい野菜やルスツ豚、素晴らしい羊蹄山から離れなければならず、少し残念ではありますが、留寿都高校で学んだ経験を生かし、新天地の小樽高等支援学校では心機一転、介護職員初任者研修の資格の取得をサポートできればと考える所存でございます。短い挨拶ではございますが、離任の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

4月の行事予定

7日 (月)	開寮
8日 (火)	着任式・前期始業式、服装頭髪検査 大掃除、式場設営、午前授業
9日 (水)	入学式、入寮式 PTA・定例会総会、午前授業
10日 (木)	新入生オリエンテーション・ 農業クラブ三大会説明会
11日 (金)	1学年集会(電子機器関連) 身体測定
14日 (月)	委員会
17日 (木)	証明写真撮影
18日 (金)	尿検査提出
21日 (月)	1年コース説明会
22日 (火)	開校記念日(登校日)
25日 (金)	内科検診(1、2年) 校内意見発表大会
26日 (土)	授業参観日(登校日)、午前授業 PTA 役員会
28日 (月)	26日の振替休日
30日 (水)	22日の振替休日

事務より

毎月末日が諸納金等の口座引き落とし日です。余裕を持って5日前までには郵便局指定口座の残金等を確認し、入金していただきますようお願いいたします。

不明な点は事務部までご連絡ください。
(電話 0136-46-3376)

